



イベントスケジュール 自然 祭り 文化・芸能 その他

| まつり・イベント名 | 場所 | 開催日 |
|------------------|--------------|-------------------------------|
| 鳳来寺山初詣 | 鳳来寺・東照宮 | 1月1日 |
| 鳳来寺田楽 | 鳳来寺田楽堂 | 1月3日 |
| 新城マラソン | 新城総合公園周辺 | 1月中旬の日曜日 |
| 湯谷温泉花まつり | 湯谷温泉大駐車場 | 2月毎土曜日 |
| 新城ラリー | 新城総合公園ほか | 3月予定 |
| 奥三河パワートレイル | 奥三河地域 | 4月中旬 |
| 新城さくらまつり | 桜淵公園 | 3月下旬~4月中旬 |
| つくでの森の音楽祭 | リフレッシュセンター | 5月~9月(年3回) |
| 長篠合戦のぼりまつり | 長篠城跡 | 5月5日 |
| 作手古城まつり | 龜山城跡 | 5月第2日曜日 |
| 設楽原決戦場まつり | 設楽原・信玄塚 | 6月第1土曜日 |
| 富岡中部祇園祭礼 | 富岡天王社 | 7月第2土曜日 |
| 阿寺の七滝まつり | 阿寺の七滝 | 7月最終日曜日 |
| 新城納涼花火大会 | 桜淵公園 | 8月13日 |
| 大海の放下 | 大海泉昌寺 | 8月14日・15日 |
| 火おんどり | 信玄塚 | 8月15日 |
| 鍋づる万灯 | 万灯山(市川) | 8月15日 |
| 乗本万灯 | 万灯山(乗本) | 8月15日 |
| 新城薪能 | 新城文化会館 | 8月中旬 |
| 富永神社例大祭 | 富永神社 | 10月第2週の木・土・日曜日 |
| 八幡神社祭礼(立物花火) | 八幡神社・新城中学校校庭 | 10月第3土曜日 |
| 石座神社笹踊り | 石座神社 | 10月中旬の日曜日 |
| 名越神楽 | 名越地区 | 10月第3週の土・日曜日 |
| 鳳来寺山もじまつり | 鳳来寺山 | 11月上旬~12月上旬 ※MIXイベント11月23日(祝) |
| 新城歌舞伎 | 新城文化会館 | 11月中旬 |
| しんしろ軽トラ市~のぼいロット~ | 新城中央通商店街 | 毎月第4日曜日 |

SHINSHIRO
TOURIST INFORMATION GUIDE



お車をご利用の場合



鉄道をご利用の場合



お問い合わせ
新城市観光課・新城市観光協会
〒441-1392 愛知県新城市字東入船 115 番地 (観光課)
TEL 0536-23-7613 (観光課)
TEL 0536-29-0829 (観光協会)
URL <http://shinshirokankou.com>
発行：新城市 2019.11

AICHI
SHINSHIRO
TOURIST
INFORMATION
GUIDE



あるがままのおもてなし



GALLERY SHINSHIRO



こんなコースはいかが？
いにしえを偲んで温泉でゆったり…

- 鳳来コース**
- 新城IC 約2.6km 約5分
 - 長祿城跡 約2.5km 約5分
 - 新城総合公園 約15.8km 約30分
 - 四谷千枚田 約16.6km 約35分
 - 鳳来寺山 約6.4km 約20分
 - 湯谷温泉 約10.4km 約20分
 - 乳岩峽 約3.0km 約10分
 - 鳳来峡IC

- 鳴沢の滝まで足を延ばして…
- 作手コース**
- 新城IC 約1.9km 約5分
 - 設楽原歴史資料館 約6.7km 約20分
 - 桜淵公園 約35km 約30分
 - つくで手作り村 約2.7km 約10分
 - 甘泉寺のコウヤマキ 約18km 約35分
 - 鳴沢の滝 約9.5km 約20分
 - 寒狭川広見ヤナ 約15km 約25分
 - 新城IC

新城市へようこそ！
愛知県の東部、奥三河の玄関口でもある新城市は、四季折々の美しい自然がまるで「幅の絵」のようにお出迎えいたします。
また、戦国時代の面影を残す興味深い歴史やくつろぎの温泉、そして新鮮な山と川の幸を堪能できる魅力あふれるまちです。
自然を満喫するもよし、歴史めぐりをするもよし、あなたの求める癒しがここにあります。

大自然と歴史の浪漫がおもてなし。

自然に癒やされる。



滝

日本の滝百選

新城ICより約15km

01 阿寺の七滝

あてらのななたき

阿寺川の礫岩の断層崖を全長62mに渡って7段の階段状に曲線美を描いて流れ落ちる滝。国指定の名勝天然記念物で「日本の滝百選」にも選ばれています。この礫岩は「子抱石」ともいい、こどもを授かるといういわれもあります。

新城市の一番の魅力と言えば、美しい自然。緑深い溪谷と澄んだ溪流。川の瀬音、せみの鳴き声、秋は錦色の紅葉。一刻ごとに変わる自然をお楽しみください。

02 百間滝

ひやっけんたき

落差43mのみごとな滝は県内最大級で、日本最長の断層帯・中央構造線の深い谷にあります。

03 鳴沢の滝

なるさわのたき

市の北端にある落差15mの迫力ある滝です。夏の涼しさは格別で、多くの方が涼を求めに訪れています。

04 鮎滝

あゆたき

6~9月に多くの鮎がこの滝を遡上する様子から「鮎滝」と名付けられました。この滝では、ここでしか見られない伝統的な「笠網漁」が行われています。



POWER SPOT

中央構造線上の パワースポット

「中央構造線」は、関東から九州まで延びる断層で新城市の南東部を横断しています。その周辺にある百間滝や鳳来寺山は、聖地・霊場として信仰の対象とされ、古くから大地のパワーが宿る場所として知られています。

鮎滝の笠網漁

あゆたきのかさあみりょう

落差約4mの滝を遡上する鮎を長い竹竿の先に付けた笠網ですくい獲る笠網漁は、昔ながらの伝統漁法として出沢地区で継承されています。奥三河屈指の名勝として、また夏の風物詩として、ひと時の涼を与えてくれています。



私のおすすめは百間滝。落差43mもあるんだって。暑い夏には涼みに行き、秋には紅葉といっしょに観るの。時間があるときは滝めぐりもおすすめよ。

棚田

日本の棚田百選



05 四谷の千枚田

よつやのせんまいだ

新城ICより約20km

四谷地区の棚田は、鞍掛山麓(883m)に広がる石垣による棚田の田んぼです。高低差200mに現在およそ20戸の農家が420枚の田を耕しており、「日本の棚田百選」にも選ばれています。



06



06

06 鳳来峡・板敷川

ほうらいきょういたじきがわ

新城ICより約12.3km

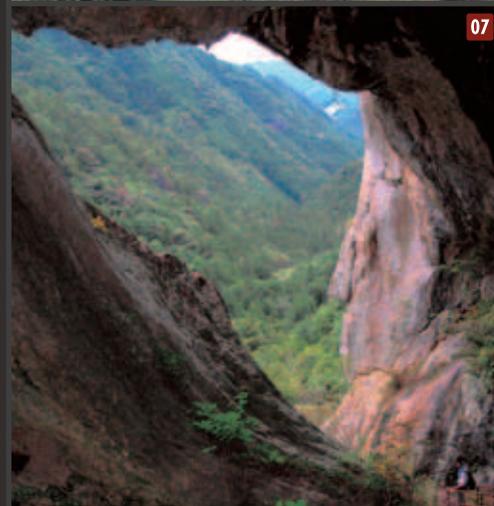
湯谷温泉を中心に宇連川の上下流約5kmの渓谷。川底は岩盤で、まるで板を敷き詰めたように見えることから「板敷川」と呼ばれています。

07 乳岩・乳岩峡

ちいわ・ちいわきょう

新城ICより約20.5km

宇連川の支流、乳岩川の上流にある全長約3kmの渓谷。標高670mの乳岩山は岩山で、その岩塊には、洞窟があります。一番大きな洞窟の天井部には、乳房のような鍾乳石が垂れ下がっていることから「乳岩」と呼ばれています。



07

07

08 東海自然歩道

とうかいしぜんぼどう

東京の高尾から大阪の箕面までの全長1697kmの自然歩道のうち市内の歩道は、静岡県境から設楽町の鞍掛山に至る約33kmの区間で、阿寺の七滝や鳳来寺山等の名所をめぐるができるだけでなく、難所と言われる棚田、宇連山周辺では、本格的なトレッキングが楽しめます。



乳岩には、大きな岩にぽっかり穴が空いた自然のフレーム「通天門」や、乳岩洞窟もあるよ。歩く途中には、鉄階段や岩場も多いので、運動に適した服装・靴で臨もう！



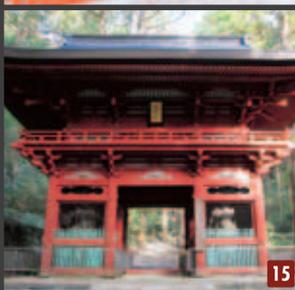
鳳来山



13 鳳来寺
ほらいじ
新城ICより約14.3km
大宝3年(703)、利修仙人によって開かれた真言宗の由緒ある寺院(真言宗五智教団の大本山)です。薬師信仰と山岳修験道の霊山として古くから信仰を集め、江戸時代には徳川家康誕生ゆかりの地として幕府の厚い保護を受けました。当時は、21院坊、寺領1350石という盛大さを誇っていました。四季を通して楽しめる鳳来寺山ですが、特に秋の紅葉は見物で、毎年11月の鳳来寺山もみじまつりは、多くの観光客で賑わいます。



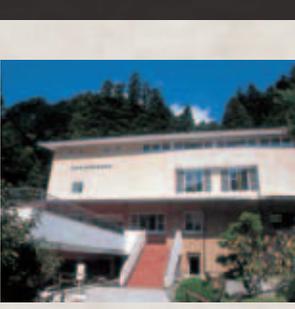
14 鳳来山東照宮
ほらいさんとうしょうぐう
新城ICより約14km
慶安元年(1648)三代将軍徳川家光は、鳳来寺を家康誕生ゆかりの地として祖父報恩のため、東照宮の建築をはじめました。その後四代将軍家綱のときに完成し、現在は、国の重要文化財に指定されています。



15 仁王門(鳳来寺山門)
におうもん(ほらいいじさんもん)
新城ICより約10.2km
鳳来寺山表参道の石段を登り、途中にある鳳来寺の山門。聖武天皇がご病気になったとき、光明皇后が鳳来寺に祈願されました。これにより病気が全快したお礼として「鳳来寺」の書をしたため、寺に寄進されたといわれています。現在は、門の上部にレプリカが掲げられています。



16 傘杉
かさすぎ
新城ICより約10.4km
仁王門をくぐると、樹齢800年、樹高60mの杉が真っ直ぐにそびえ立っています。幹の上方で枝が四方に広がり、傘をさしたように見えることから傘杉と呼ばれています。また杉の樹高は日本で2番目の高さを誇り、「新日本名木百選」にも選ばれています。



17 鳳来寺山自然科学博物館
ほらいいじさんしぜんかがくはくぶつかん
新城ICより約10km
鳳来寺山表参道に鳳来寺山を中心とした動物・植物・地質等の自然科学の拠点としての博物館があります。コノハズク(声の仏法僧)の鳴き声を聞くことができるコーナーなどもあり、人気の博物館です。

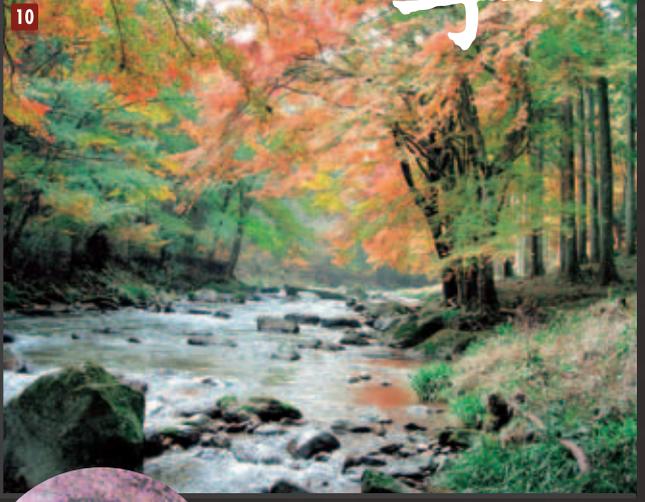
コノハズク(声の仏法僧)
このはすく(こゑのぶつほうそう)
愛知県の鳥。鳳来寺山へも飛来する夏鳥で、鳴き声は「ブッポウソー」とかん高く、仏教の「仏・法・僧」とつながることから、霊鳥とされています。



四季

四季を楽しむ。

09 桜淵公園
さくらぶちこうえん
新城ICより約6.8km
桜と淵をもつ景勝地で、江戸の初期、新城城主が豊川沿いに桜を植えさせたのが始まりと言われています。春の桜、夏の緑、秋の紅葉は素晴らしく、年間を通して楽しむことができる自然豊かな公園です。毎年3月下旬から4月中旬まではさくらまつり、8月13日には納涼花火大会が開催されます。



10 巴川の紅葉
ともえがわのこうりゅう
新城ICより約20.3km
巴川周辺は、美しい紅や黄色に染まる紅葉のメッカ。清流と紅葉と秋空が万華鏡のように重なり合って息を呑む美しさです。

11 河津桜のトンネル
かわつさくらのだんねる
新城ICより約5km
昭和55年に旧鳳来町商工会と河津町商工会が姉妹提携を結びました。この河津桜は平成3年に河津町商工会青年部と地元住民と一緒に植樹したのが始まりで、3月下旬には美しい桜のトンネルが見られます。



12 川売の梅
かわうめのうめ
新城ICより約16.5km
設楽町に近い海老の川売地区の梅園は、およそ10戸の農家で南高をはじめとした7種類の品種約1500本を育てています。3月上旬から開花し、見頃は3月中旬から下旬です。映画「折り梅」のロケ地にもなりました。



市の花 ササユリ
市の木 ヤマザクラ
市のカエル モリアオガエル
彼岸花の群生 (市内各所)



歴史を辿る。

設楽原を舞台として繰り広げられた長篠・徳川連合軍と武田軍、新旧の戦いが歴史を大きく動かすことになりました。



長篠合戦図屏風(大阪城天守閣所蔵)

日本各地に有力な戦国大名が群雄割拠するこの時代、奥三河には、山家三方衆と呼ばれる土豪がいました。東に今川・武田、西に織田・松平などの有力大名に囲まれたこの地では、自家の存続のため、めまぐるしく従属関係を変えなければならず、時には親子が敵味方に分かれて戦うこともあり。天正3年(1575)、奥平貞昌が徳川氏の家臣として長篠城に入ったことから、歴史は動きだします。その城をめぐる繰り広げられた織田・徳川連合軍の鉄砲と馬防柵、武田の騎馬隊の戦いは、斬新な戦術を追求した信長と、伝統的な戦術に秀でた勝頼との激突であり、新旧の戦術がこの地で対決しました。この戦いの勝利の後、奥平家は新城の地に移り城を築き、新城城主として新城の町の礎を築きました。

戦

日本
名100
名城

19 長篠城跡

ながしのじょうあと

新城ICより
約2.6km

永正5年(1508)に菅沼元成が築いた長篠城は、豊川と宇連川の合流点に位置し、北方に人口の堀と土塁を築いた堅固な城でした。戦国の世の常として、今川、武田、徳川にと帰属を変え、天正3年には21歳の奥平貞昌が城主となりました。この城を長篠・設楽原の戦いで武田信玄の子・勝頼が父の上洛の夢を果たそうと15,000人の大軍により包囲しましたが、貞昌は500人の兵で籠城に耐え抜きました。



19 18

18 設楽原決戦場

したらがはらせんじょう

新城ICより
約2km

天正3年(1575)、長篠・設楽原の戦いの舞台となった場所。武田軍と織田・徳川連合軍の総勢5万人を超える兵士達が、当時東西の勢力の要となっていた長篠城をめぐる様々な戦術を駆使して戦いました。無敵を誇っていた武田軍の騎馬隊に対する織田・徳川連合軍は、「火縄銃」という新たな武器を「鉄砲隊」と「馬防柵」という戦術で組織的に利用し、圧倒的な強さで短期間の内に決戦を征しました。その馬防柵が決戦場跡に再現されています。



30 設楽原歴史資料館

したらがはらせんじょうかん

新城ICより
約1.9km

長篠・設楽原の戦いの様子は決戦場を臨む丘の上にある資料館で詳しく知ることができます。多数の火縄銃が展示され、鉄砲の伝来からその後の火縄銃の歴史を展示紹介しています。

TEL.0536-22-0673



20 新城城跡

しんじょうあと

新城ICより
約4.5km

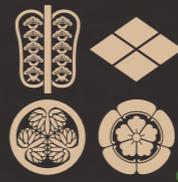
長篠・設楽原の戦いの結果、織田・徳川連合軍の大勝利に帰したので、奥平貞昌は、信長の信の一字をもらって信昌と改め、家康の長女・龜姫をめぐり、天正4年(1576)に新城城を築城しました。

21 野田城跡

のだじょうあと

新城ICより
約7.8km

元龜4年の戦いの際、信玄が鉄砲で撃たれたという話が伝わっています。城内にいた笛の名人、村松芳休の奏でる笛の音に、夜、信玄が聞き惚れて堀端に出たところを鉄砲の名人、鳥井半四郎に撃たれたということ。これが原因かどうかはわかりませんが、信玄はこのころから病気になる、帰路の途中、信州駒場で死んだとされています。



24 古宮城跡

ふるみやじょうあと

新城ICより
約22.2km

元龜3年(1572年)に奥平氏の監視のために武田信玄の重臣馬場美濃守信春が甲州流の縄張り、武田軍の最前線基地として築城。2年後奥平・徳川連合軍の前に自焼陥落しましたが、名城の面影を今に残しています。

25 川尻城跡

かわしりじょうあと

新城ICより
約23.7km

天授年間(1375~81)に上野(群馬県)吉井から移ってきたとされる作手奥平氏の初代貞俊が、最初に築城した城。今は城の冠木門が復元され公園となっています。

26 信玄塚

しんげんづか

新城ICより
約1.3km

長篠・設楽原の激戦により村から避難していた村民たちが帰村後、散乱していた名もなき武者のなきがらを埋葬し、塚を築き吊ったところ。当時すでに信玄は没しており戦いには参加していませんでしたが、信玄の威名が武田氏の代名詞だったことがうかがえます。

27 亀山城跡

かめやまじょうあと

新城ICより
約21.4km

応永31年(1424年)に奥平貞俊により築城されました。周辺には、武田方によって築城された古宮城跡や塞の神城跡があります。毎年5月中旬には「古城まつり」が開催されます。

31 長篠城址史跡保存館

ながしのじょうししせきほぞんかん

新城ICより
約2.6km

日本百名城に数えられる長篠城の城跡にあり、長篠・設楽原の戦いに関する遺品や文献などを保存し、常時約200点の展示があります。

TEL.0536-32-0162



23 甘泉寺のコウヤマキ

かんせんじのこうやまき

新城ICより
約23.9km

甘泉寺境内にあるコウヤマキは、樹齢600年以上の古木で樹高28m、幹の周りは6.5mにもなります。国の天然記念物に指定されているほか、「新日本名木百選」にも選ばれています。



28 満光寺庭園

まんこうじていえん

新城ICより
約11.2km



29 大通寺の盃井戸

たいつうじのさかずきいど

新城ICより
約3.4km

長篠城跡の北端に接した大通寺には、盃井戸と呼ばれる泉があり、長篠・設楽原の戦いの時、武田方の馬場信房・山県昌景・土屋昌次がこの泉を汲み、別れの水盃を交わしたといわれています。

32 作手歴史民俗資料館

つくでれきしむんぞくしりょうかん

新城ICより
約23km

お城をモチーフとした資料館。長篠・設楽原の戦いで長篠城主となった奥平氏の居城であった亀山城跡の模型やその地に暮らした人々の生活用品が展示されています。

TEL.0536-37-2269



祭りに酔いしれる。

炎

8月

33 火おんどり 新城ICより約1.3km
ひおんどり

長篠・設楽原の戦いの1万を越える戦死者の供養は、今の世まで大切に受け継がれており、毎年8月15日の夜に行う盆行事「火おんどり」は、厳かな種火の行列に始まり、3mもの大松明を振りかざす勇壮なフィナーレで最高潮の時を迎えます。

しんしろ 戦国絵巻 三部作

33



34



35



5月

34 長篠合戦のぼりまつり 新城ICより約2.6km
ながしのかっせんのもりまつり

長篠・設楽原の戦いで戦死した両軍の将士の霊を慰めるために、関係将士の紋入りのぼり数千本を献植して行うまつり。鎧・兜に身を固めた砲術隊による火縄銃の演武、勇壮な合戦行列などが毎年5月5日に盛大に開催されます。

5月

35 作手古城まつり 新城ICより約21.4km
つくでこじょうまつり

5月第2日曜日に龜山城跡付近で開かれるおまつり。長篠・設楽原鉄砲隊による火縄銃の演武をはじめ、句会・歌会・野点など風雅を楽しむことができるおまつりです。

6月

36 設楽原決戦場まつり 新城ICより約1.8km
したらがはらけっせんじょうまつり

日本で初めて大量の鉄砲が使われた長篠・設楽原の戦い。その設楽原古戦場を舞台に火縄銃の演武や小・中学生による武者行列、子供武者による馬防柵演武などが行われ、当時の様子が再現されます。

歴史のまちにちなんだイベントが人気で、迫力ある火縄銃の演武も見どころです。また、長篠・設楽原の戦いの戦没者を供養する「火おんどり」では、3メートルもの大松明を振りかざし、見る者を魅了します。



37

37 大海の放下 新城ICより約3km
おおみのほうか

8月14日・15日の夜、背中に高さ2.1mの大団扇を背負い、腹には直径50cmの太鼓を抱えて初盆の家々を回り、庭先で鉦と太鼓の静かなリズムに合わせて舞う盆行事です。

8月

38 乗本万灯 新城ICより約3.8km
のりもとまんどう

毎年8月15日の夜、精霊送りと悪霊鎮めの意味を込めて行われ、市内竹広地区の火おんどりと並び火を使う盆行事です。さらしを巻き足にはわらじを履いた勇壮な若者が、5.6mの縄の先につけられた万灯(麦わらで作製)を力強く頭上で振り回します。

8月

39 鍋づる万灯 新城ICより約4km
なべづるまんどう

毎年8月15日の夜、大きな松明を山の斜面に立て、一斉に点火する万灯祭が行われます。明々と燃える松明が、鍋弦の形をしていることから「なべづる」万灯と呼ばれ、京都の大文字焼きと同じく精霊送りの行事です。

10月

40 富永神社例大祭 新城ICより約4.7km
とみながしんじやれいたいさい

3日間にわたって繰り広げられる富永神社の祭りでは、江戸時代から伝わる町衆による能、さざ踊り、稚児などの伝統的な芸能が町ごとに披露され、勇壮なやぐらの練りこみ、手筒花火の奉納などの賑わいで街中が昼も夜も祭り一色の雰囲気となります。



38



39



41

新城の芸能

奥三河地域には、多くの民俗芸能が伝えられており、全国的にも有名な無形民俗文化財が集中しています。「三河田楽」として知られている「鳳来寺田楽」をはじめとして、富永神社の「祭礼能」や「はねこみ」「名越神楽」などの民俗芸能が今なお受け継がれています。

41 新城薪能 新城ICより約5.4km
しんしろたぎのう

町衆によって受け継がれてきた、伝統芸能「能・狂言」です。全国的にも、町衆だけによる演能は大変珍しいといわれています。夏に行われる幻想的な伝統芸能です。

8月



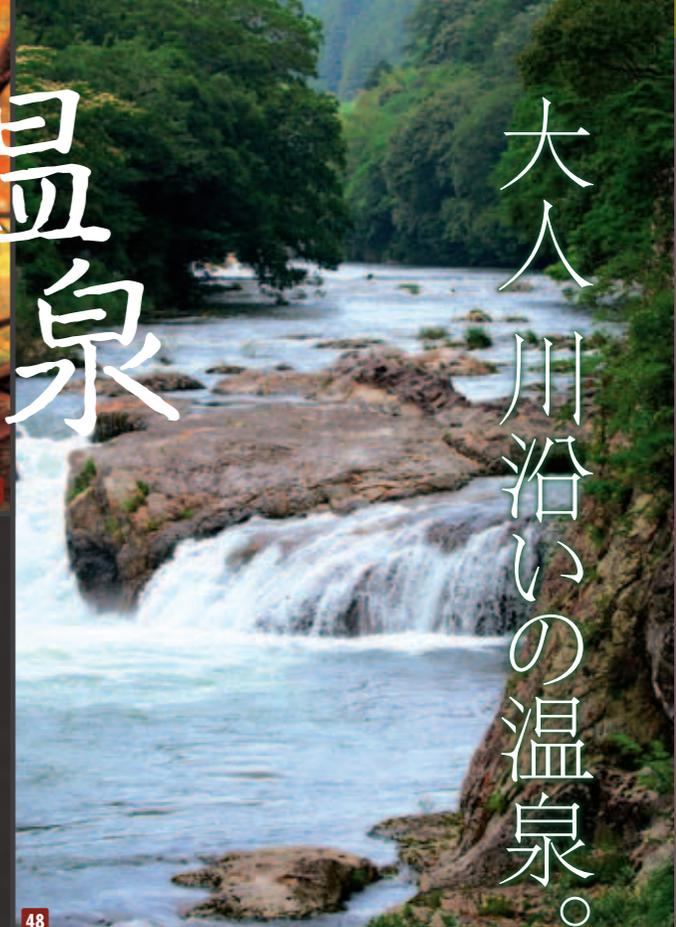
42 鳳来寺田楽 新城ICより約14.3km
ほうらいじでんがく

毎年1月3日、鳳来寺の田楽堂で演じられる田楽で「三河の三田楽」の一つ。この鳳来寺田楽は鳳来寺が扶持を与えて田楽衆に奉仕させたので、寺田楽ともいわれています。国の重要無形文化財に指定されています。

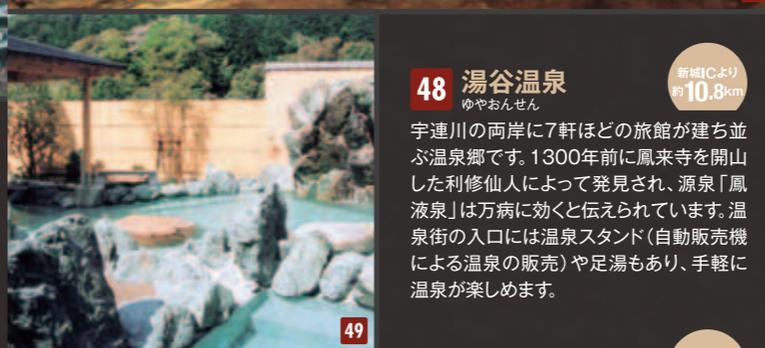
1月

大人川沿いの温泉。

温泉



森の緑を眺め森の息遣いを感じ、川のせせらぎを聴きながら入る、ゆったりとした温泉。自然の力のリラクゼーション。



新城ICより約10.8km

48 湯谷温泉

宇連川の両岸に7軒ほどの旅館が建ち並び温泉郷です。1300年前に鳳来寺を開山した利修仙人によって発見され、源泉「鳳来泉」は万病に効くと伝えられています。温泉街の入口には温泉スタンド(自動販売機による温泉の販売)や足湯もあり、手軽に温泉が楽しめます。

新城ICより約11.5km

49 鳳来ゆ〜ゆ〜ありいな

岩風呂の露天風呂・内風呂の浴場施設と、25mの温泉プールやウォータースライダー付きの子どもプール、スポーツジム等のスポーツ施設もあります。

新城ICより約17.5km

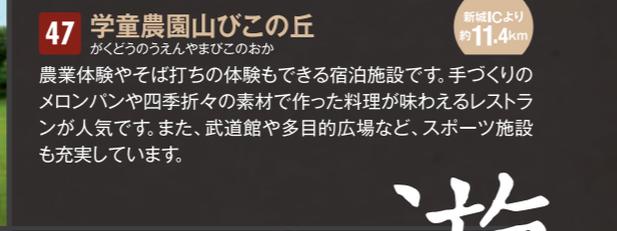
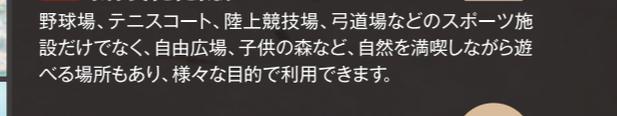
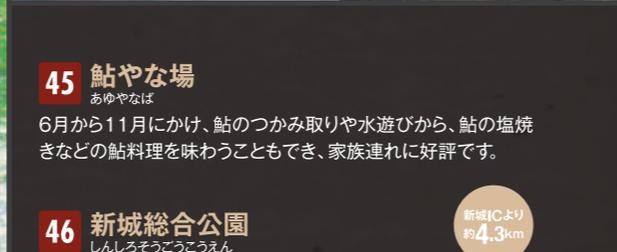
50 名号温泉うめの湯

梅の生産は、県内一の生産地。梅の里名号にある入浴施設です。自然に囲まれ、目の前に迫る山の緑を眺めながら入浴できます。

新城ICより約12.7km

51 湯谷園地

板敷川沿いに川遊びスポットが広がります。夏には、川をせき止めて作った天然プールやヤナ場が設置され、鮎のつかみ取りも楽しめます。その場で鮎の塩焼きを食べることもできます。また、近くには新城産の木材からエッセンシャルオイルを抽出した化粧品等の製造・販売のほか、オイルを使った体験ができる施設もあり、心も身体も癒されます。



遊

46

45 鮎やな場

6月から11月にかけて、鮎のつかみ取りや水遊びから、鮎の塩焼きなどの鮎料理を味わうこともでき、家族連れに好評です。

新城ICより約4.3km

46 新城総合公園

野球場、テニスコート、陸上競技場、弓道場などのスポーツ施設だけでなく、自由広場、子供の森など、自然を満喫しながら遊べる場所もあり、様々な目的で利用できます。

新城ICより約11.4km

47 学童農園山びこの丘

農業体験やそば打ちの体験もできる宿泊施設です。手づくりのメロンパンや四季折々の素材で作った料理が味わえるレストランが人気です。また、武道館や多目的広場など、スポーツ施設も充実しています。

44

52 サイクルツーリズム

市内の公道を使用したロードバイクのレースの他、市内を巡るサイクリングコースが設定され、オールシーズンサイクリングが楽しめます。

53 トレイルランニング

自然豊かな森や山々を駆け抜けるトレイルランニング。市内では、OSJ新城トレイルレース、三河高原トレイルレース、奥三河パワートレイル等が開催されています。また、愛知県民の森や東海自然歩道は愛知県内のトレイルランニングのメッカとして親しまれています。

3月

54 新城ラリー

新城ラリーは、日本を代表するモータースポーツイベントとして全国から多くの観光客が訪れます。公道を風のように疾走する姿は圧巻。また、イベント会場では、プロドライバーによる迫力あるデモンストレーション走行も見ることができます。

湯谷温泉は、あのロックシンガー故郷野清志郎さんが愛した温泉として有名なんだって。湯谷や鳳来地区の景色が気に入りで、自慢のロードバイクで鳳来寺山や千枚田の辺りを走っていたそうだよ。

子ども天然プール。



夏休みになると毎日みんなが川あそびをするんだ。流れがあつて、冷たくて、プールより気持ちがいいよ。魚がいる場所もあるんだよ。

木々に囲まれた水の澄んだ溪流。流れがゆるやかな場所は子どもが喜ぶ天然プール。湧き上がる歓声、あふれる笑顔。

43

43 鬼久保ふれあい広場

テニス、野球、プールからお散歩、バードウォッチングまで楽しめる、広々とした高原リゾートゾーンです。ペンションも点在しているため、宿泊しながら、ゆっくりと健康づくりが楽しめます。

新城ICより約21.4km

44 愛知県民の森

森の中の宿泊施設「モリトピア愛知」を中心に、森の展示館、キャンプ場、各種園地、ハイキングコースが整備されている総合施設です。川遊びができる場所としても楽しめます。

新城ICより約14.8km



道の駅



44 もっくる新城
もっくるしんしろ

新城市をはじめとする奥三河の特産品を販売する売店や地元の食材を活かした料理が食べられるフードコート、湯谷温泉の源泉を使用した足湯、奥三河の観光情報などを紹介する観光案内所と、この地域ならではの施設です。



45 つくで手作り村
つくでてづくりむら

「農業・自然・手作り」をコンセプトに建てられた施設。地元で採れる農産物とそれらの加工品販売や旬の素材を使った料理が楽しめます。他にも木工や手芸、郷土料理作りや農業体験ができます。



46 鳳来三河三石
ほうらいみかわさんごく

鳳来地区の特産品や土産品、産直野菜等の販売や名物の梅を使用した食事が楽しめます。施設の北側には、庭園で有名な満光寺があります。

特産品でおもてなし。

トマト・いちご・巨峰・柿、ミネアサヒ(米)・八名丸(さといも)・自然薯・しいたけなど、この地方ならではの農作物をはじめ、鉢花も人気です。



鳳来牛



ジビエ料理(猪)

酒まんじゅう



新城茶

五平餅



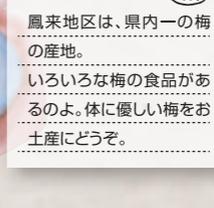
梅うどん



梅ジャム



梅アイス



三河材



◆自然

- 01 E2 阿寺の七滝
- 02 E2 百間滝
- 03 C1 鳴沢の滝
- 04 C3 鮎滝
- 05 D1 四谷の千枚田
- 06 D2 鳳来峡・板敷川
- 07 E1 乳岩・乳岩峡
- 08 B2 長ノ山湿原
- 09 D1 川売の梅
- 10 B2 巴川の紅葉
- 11 B3-C3 彼岸花群生地
- 12 D-E 東海自然歩道
- 13 D3 不っ田の七滝

◆歴史

- 14 C3 長篠城跡
- 15 C3 設楽原決戦場(馬防柵)
- 16 B2 鳥居強右衛門の墓
- 17 C3 信玄塚
- 18 A2 亀山城跡
- 19 A2 古宮城跡
- 20 B3 野田城跡
- 21 C4 宇利城跡
- 22 B3 新城城跡
- 23 A2 川尻城跡
- 24 D3 柿本城跡

◆寺社

- 25 D2 鳳来山東照宮
- 26 D2 鳳来寺
- 27 D2 仁王門(鳳来寺山門)
- 28 C4 富賀寺(ハス)
- 29 E2 石雲寺(節分草)
- 30 C4 慈廣寺(ハス)
- 31 B2 甘泉寺(コウヤマキ)
- 32 C3 医王寺(勝頼本陣跡)
- 33 D3 満光寺(庭園)

◆施設

- 34 C3 長篠城址史跡保存館
- 35 C3 設楽原歴史資料館
- 36 A2 作手歴史民俗資料館
- 37 C3 茶臼山公園(信長本陣跡)
- 38 B3 桜洲公園
- 39 D2 鳳来寺山自然科学博物館
- 40 A2 鬼久保ふれあい広場
- 41 C3 新城総合公園
- 42 B3 新城文化会館
- 43 D2 愛知県民の森
- 44 C3 もっくる新城(道の駅)
- 45 A2 つくで手作り村(道の駅)
- 46 D3 鳳来三河三石(道の駅)
- 47 C2 学童農園山びこの丘
- 48 D2 湯谷温泉
- 49 E2 名号温泉(うめの湯)
- 50 D2 鳳来ゆ〜ゆ〜ありいな
- 51 C2-D2 鮎やかな場

梅

鳳来地区は、県内一の梅の産地。いろいろな梅の食品があるよ。体に優しい梅をお土産にどうぞ。



おもてなし其の七 ◆ 道の駅と特産品でおもてなし